

理学部 カリキュラム・ポリシー

【理学部の教育システム】

高知大学理学部（理学科および応用理学科）は、太平洋に面した南四国の地域の特徴を生かしつつ、自然科学とその応用分野を総合的に教授し、科学的思考力に基づいた正しい自然観、倫理観、国際性を涵養することを教育目標とする。教育目標を実現するため、数学的思考力・英語力・情報処理能力を基盤とし、理学科では数学・物理・化学・生物・地学等の基礎理学を学び、応用理学科では情報・物質・生命・災害等の応用理学を学ぶことにより、課題解決能力に秀でたジェネラリストや専門職業人を育成する。

また、本学部は、専門科目を「主専攻科目群」と「副専攻科目群」に分け、その組合せによって多様なプログラムを提供する。主専攻（コース）は4年間を通して学ぶ主たる専門分野であり、副専攻には主専攻をさらに発展させた「アドバンスプログラム」、主専攻を異にする学生向けの「ジェネラルプログラム」がある。

【理学部のカリキュラム・ポリシー】

（1年次）

- ・理学士の教養としての数学的思考力を涵養するため、共通教育科目の「数学概論」もしくは「微分・積分学の基礎」を選択必修科目として配置する。
- ・専門分野への導入となる専門科目を配置する。
- ・1年次終了時に所属学科および主専攻（コース）を決定する。

（2年次）

- ・所属コースに応じた専門分野の基礎や最先端の研究成果を学ぶため、主として2年次に「基礎ゼミナール（必修科目）」を配置する。
- ・所属コースに応じた専門的な英語力および情報処理能力を涵養するため、主として2年次に「科学英語（必修科目）」および「専門情報処理演習（必修科目）」を配置する。
- ・専門分野の講義、演習、実験、実習等を配置する。

（3年次）

- ・2年次終了時に副専攻を決定し、3年次から「アドバンスプログラム」または「ジェネラルプログラム」を履修する。
- ・主として「アドバンスプログラム」履修者用に「英語ゼミナール」を配置する。
- ・専門分野の講義、演習、実験、実習等を配置する。

（4年次）

- ・アドバンスプログラムの学生は「卒業研究（必修科目）」を行い、卒業論文を作成することで課題探求・問題解決能力を涵養する。
- ・ジェネラルプログラムの学生は主として「課題演習（必修科目）」を行い、課題レポートの作成およびプレゼンテーションを行うことで課題探求・問題解決能力を涵養する。